

「看板：碗吉 2 0 2 1」

菅野 弘之<sup>※1</sup>

Sign : Wankichi 2 0 2 1

Kanno Hiroyuki

『美術の教材研究（中学校美術・小学校図画工作・幼稚園造形表現）「教材：看板」から考える窯がなかったと仮定した視点からの教材考』<sup>※2</sup>において窯がないことを仮定して考察した。今回は制作者としての立場で窯を用いて制作し、窯があることとないことの心境の往還を試みた作品。また、本作品は、教材の作品例として制作した作品である。

教材題材名：「サイン」（仮題） 作品名：「看板：碗吉 2 0 2 1」

素材：陶・木

特徴としては、新しい試みによる陶の加彩技法を作品化しようとした作品である。

工芸分野としては、木工芸と陶芸分野の技法を使用して制作されている。白木部分の着彩と陶の加彩による部分で構成されている。

---

※1 長崎大学人文社会科学域（教育）教授

※2 長崎大学教育学部紀要 第6集 令和2年3月発行





「碗吉2021」

